

15ヶ国の技術者が学ぶ日本の道路技術と震災の教訓 JICA 研修員が大阪・神戸の道路と明石海峡大橋を視察！

未舗装の道路や都市部の交通渋滞といった問題を多く抱える開発途上国の道路整備技術者たちが、道路網計画や維持管理・舗装技術など問題解決のヒントを求めて来日しました。6週間の研修の仕上げとして、12月11日(月)と12日(火)、大阪・神戸と淡路島を訪ね、大都市の道路開発の実際と明石海峡大橋などを視察します。

15ヶ国21名の研修員が訪問するのは、阪神高速道路(株)、限られた土地を有効活用している船場センタービル・阪神高速11号池田線 梅田出路付近、明石海峡大橋と道の駅あわじなど。阪神高速道路(株)と本州四国連絡高速道路(株)からは、阪神淡路大震災の教訓として得た防災技術なども語っていただく予定です。震災の規模と被害を知っていただくために震災資料保管庫も見学します。

▼日時:2017年12月11日(月)及び12日(火)

12月11日(月)	12月12日(火)
10:00 阪神高速道路(株) ・船場センタービル(時間未定)	10:00 橋の科学館 ・明石海峡大橋(時間未定)
13:45 阪神高速11号池田線 梅田出路	11:30 淡路SA(昼食)
15:00 震災資料保管庫(神戸市東灘区。 被災構造物の実物や資料等を保管)	12:40 道の駅あわじ

※時間や予定が変更になる場合もありますので、取材をご検討いただける際には、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

【研修概要】

研修コース名: JICA課題別研修 「道路行政」

参加国: アフガニスタン(2)、コートジボワール(1)、エチオピア(1)、インド(1)、インドネシア(1)、キリバス(1)、ラオス(2)、リベリア(2)、モルディブ(2)、パプアニューギニア(2)、フィリピン(1)、ソロモン諸島(1)、タジキスタン(2)、タンザニア(1)、ウガンダ(1) (カッコ内は人数)

【本件に関する問い合わせ先】

東京国際センター 経済基盤開発・環境課 井上達昭/亀井 千里

TEL 03-3485-7652 e-mail: Inoue.Tatsuaki@jica.go.jp